



アドビ システムズ 株式会社
141-0032 品川区大崎1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、2018 年第 4 四半期および通年の業績を発表

第 4 四半期の営業キャッシュフローが 10 億ドルを突破、
2019 年度の収益および ARR の達成目標を上方修正

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください。

【2018 年 12 月 14 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2018 年 12 月 13 日）: Adobe (Nasdaq: ADBE)（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2018 年度第 4 四半期（2018 年 9 月 1 日から 2018 年 11 月 30 日）および通年（2017 年 12 月 2 日から 2018 年 11 月 30 日）の決算を発表しました。

2018 年度第 4 四半期の収益は過去最高となる 24 億 6,000 万ドル、前年同期比 23%増となりました。2018 年度通年の収益は過去最高となる 90 億 3,000 万ドル、同じく前年比 24%増でした。

アドビの会長、社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayen）は、次のように述べています。

「アドビは 90 億ドルを超える過去最高の収益を達成し、2018 年度も卓越した業績を残すことができました。2018 年度には、当社の製品ポートフォリオ全般にわたって多額の投資を行ったほか、複数の新市場への進出、および複数の戦略的買収を行うことにより、収益と利益を今後もさらに高めることができると考えています。」

アドビのエグゼクティブバイスプレジデント兼 CFO（最高財務責任者）であるジョン マーフィー（John Murphy）は、次のように述べています。

「すべての分野で過去最高となる業績を達成し、マーケットを除外しても、通年および四半期の目標を超え、年度を終えることができました。マーケットを迎えることができ、同社が市場でのチャンスを広げてくれることを嬉しく思っています。今後も収益の成長見通しは明るく、2019 年度も収益の伸びと健全な利益の拡大を加速することができるでしょう。」

アドビは 2018 年 10 月 31 日にマーケットを買収し、それにより第 4 四半期の収益がおよそ 2,100 万ドル拡大しました。本プレスリリースは、マーケットの影響を含む場合と含まない場合の主要財務情報をともに掲載しているため、今回の買収以前に提示された財務目標に基づいてアドビの業績を評価することが可能です。

2018 年度第 4 四半期の業績ハイライト

	2018 年度第 4 四半期 目標 マーケットを含まない ¹	2018 年度第 4 四半期 業績報告 マーケットを含まない ²	2018 年度第 4 四半期 業績報告 マーケットを含む
収益合計	24 億 2,000 万ドル	24 億 4,000 万ドル	24 億 6,000 万ドル
GAAP EPS	\$1.42	\$1.48	\$1.37
Non-GAAP EPS ²	\$1.87	\$1.90	\$1.83
デジタルメディア分野の収益	前年比最大 22%増	前年比 23%増	前年比 23%増
デジタルエクスペリエンス 分野の収益	前年比最大 20%増	前年比 22%増	前年比 25%増
新規デジタルメディア分野の 純 ARR (年間経常収益)	最大 3 億 8,500 万ドル	4 億 3,000 万ドル	4 億 3,000 万ドル
¹ アドビは、2018 年 10 月 31 日のマーケットの買収に先立って、2018 年 9 月 13 日に 2018 年度第 4 四半期の目標を提示し、2018 年 10 月 15 日に再確認しました。 ² GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、 プレスリリース (英語版) の末尾とアドビの Web サイトで説明します。			

2018 年度第 4 四半期のその他の業績ハイライト：

- 前年同期比で見ると、GAAP ベースでは営業利益が 11%増、純利益が 35%増、Non-GAAP ベースでは営業利益が 18%増、純利益が 44%増。
- 営業キャッシュフローは過去最高となる 11 億 1,000 万ドルに拡大。
- 繰延収益は前年同期比約 30 億 5,000 万ドルに拡大。
- 当四半期中に約 160 万株を買い戻し、約 3 億 9,700 万ドルの現金を株主に還元。

2018 年度の業績ハイライト

	2018 年度目標 Magento とマーケットを含まない ¹	2018 年度業績報告 Magento とマーケットを含む
収益合計	\$ 87 億 2,500 万ドル	\$ 90 億 3,000 万ドル
デジタルメディア分野の収益	前年比最大 23%増	前年比 26%増
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年比最大 15%増	前年比 20%増
アドビ エクスペリエンス クラウド のサブスクリプション収益 ²	前年比最大 20%増	前年比 26%増
新規デジタルメディア分野の純 ARR (年間経常収益)	最大 11 億ドル	14 億 5,000 万ドル
GAAP EPS	\$4.40	\$5.20
Non-GAAP EPS ³	\$5.50	\$6.76
¹ アドビは 2018 年度の目標を 2017 年 12 月 14 日に提示しました。 ² SaaS、マネージドサービス、Adobe Analytics Cloud、Adobe Marketing Cloud および Magento Commerce Cloud の契約期間ベースの提供による収益および Adobe Advertising Cloud の合計収益を含みます。 ³ GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、 プレスリリース (英語版) 末尾とアドビの Web サイトで説明します		

2018 年度のその他の業績ハイライト：

- 前年比で見ると、GAAP ベースでは営業利益が 31%増、純利益が 53%増、Non-GAAP ベースでは営業利益が 31%増、純利益が 56%増。
- 通年の営業キャッシュフローは 40 億 3,000 万ドル。
- 当年度中に合計 870 万株を買い戻し、20 億ドルの現金を株主に還元。

「ASC 606」に関する更新情報

アドビは 2019 年度より、「ASC 606」(Accounting Standards Coding Topic 606)に基づいて決算情報の報告を行います。最初の報告は 2019 年 3 月の第 1 四半期報告書になります。アドビが本日提示する財務目標は「ASC 605」に基づいています。これは、アドビが同社の財務システムにマーケット買収を組み込む必要があるためです。2019 年度の報告において行われる「ASC 606」への移行は、当社の収益に重大な影響を与えないと引き続き考えています。ただし、2019 年度には販売手数料の資本組み入れが行われるため、収益が若干拡大すると予想しています。

アドビ、マーケットの買収により 2019 年度の財務目標を更新

アドビは 2018 年 10 月 15 日の財務アナリストミーティングにおいて 2019 年度の予備的財務目標を提示しましたが、その時点でマーケットの買収は完了していませんでした。アドビは本日、以下の事項の影響を反映させるため、それらの目標を更新し、1 株当たり利益 (EPS) の目標を提示します。

- マーケットの買収。これには、買収会計による収益、事業費用ならびに繰延収益の償却、および買収資金供給のための費用の拡大が含まれます。
- 2018 年 9 月以降の世界的な為替相場の悪化。2019 年度の予備的財務目標を 10 月中旬に提示した際、その時期のスポットレートを基準として行いました。

以下の表およびコメントは、アドビの 2019 会計年度の財務目標を要約したものです。

アドビの 2019 年度合計収益	最大 111 億 5,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年比最大 20%増	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年比最大 34%増	
新規デジタルメディア分野の純 ARR (年間経常収益)	新規純 ARR が最大 14 億 5,000 万ドル	
デジタルエクスペリエンス年間サブスクリプション申込 ¹	前年比最大 25%増	
税率	GAAP: 最大 10%	Non-GAAP: 最大 11%
1 株当たり利益	GAAP: 最大\$5.54	Non-GAAP: 最大\$7.75
¹ SaaS、マネージドサービスおよび Adobe Analytics Cloud と Adobe Marketing Cloud および Magento Commerce Cloud の契約期間ベースの提供による年間サブスクリプション価値を含みます。		

2019 年度の第 1 四半期以降、アドビの各四半期の収益は、通年の収益目標によって示される前年比成長率とほぼ同じ成長率で拡大すると予想しています。さらに、新規デジタルメディア分野の各四半期の純 ARR は、過去の会計年度の各四半期において達成した成長率と近い比率で拡大すると予想します。ただし、例年の傾向として、第 3 四半期には前四半期比で純 ARR が若干下がり、年度末には第 4 四半期の純 ARR が拡大することを見込んでいます。

最近の複数の買収のための会計による繰延収益の減少の影響は、2019 会計年度を通じて少なくなっていくため、第1四半期以降、各四半期の営業利益および1株当たり利益成長率は、拡大すると予想しています。

GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、[プレスリリース（英語版）](#)の末尾とアドビの Web サイトで説明します。

アドビ、2019 年度第1四半期の財務目標

以下の表は、アドビの 2019 年度第1四半期の財務目標を要約したものです。

アドビの 2019 年度第1四半期の収益	最大 25 億 4,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年同期比大 20%増	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年同期比大 31%増	
その他の営業外費用	最大 3,900 万ドル	
税率	GAAP: 最大で 3%	Non-GAAP: 最大で 11%
株式数	最大で 4 億 9,500 万株	
1株当たり利益	GAAP:最大で\$1.14	Non-GAAP: 最大で\$1.60
新規デジタルメディア分野の純 ARR（年間経常収益）	最大 3 億 3,000 万ドル	

GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、[プレスリリース（英語版）](#)の末尾とアドビの Web サイトで説明します。

将来的観測の開示（Forward-Looking Statements Disclosure）について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、事業の勢い、当社のマーケットにおける機会、収益、営業利益、新会計基準の影響、サブスクリプション サービスの利用件数、季節変動、年間経常収益、その他の営業外費用、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの課税率、GAAP ベースおよび non-GAAP ベースの1株当たり利益、株式数に関連する将来的観測を含みます。実際の業績を異ならせ得る原因としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 競争において成果をあげることの失敗
- 顧客の要求に応える製品およびサービスの開発、獲得、市場投入、流通の失敗
- 新技術の導入
- サイバー攻撃に関連するリスク
- アドビまたは第三者によって提供されるホステッドサービスに障害または遅延が生じる可能性
- 情報セキュリティ、およびプライバシーに関連するリスク
- 複雑な販売サイクル
- 当社のサブスクリプションサービスによる収益の認識タイミングに関連するリスク
- サブスクリプションサービスの更新比率の変動
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗
- 会計原則および税法の変更
- 当社が事業を行っている国々における金融市場および経済情勢の不確実性
- 多国籍企業にとって不可避のさまざまなリスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2017年12月1日を末日とする2017事業年度のアドビの年次報告書（Form 10-K）、および2018年度に発行されたアドビの四半期報告書（Form 10-Q）をご参照ください。

プレスリリースに記載された財務情報は、現時点で得られる情報に基づいた推定を反映したものです。これらの数値は、アドビが2018年11月30日を末日とする四半期について2019年1月に提出予定の四半期報告書（Form 10-K）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。

アドビはこれら将来的観測について情報更新の義務を負わず、当面は更新の意図也没有ありません。

アドビについて

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

©2018 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe, Adobe Experience Cloud, Adobe Analytics Cloud, Adobe Marketing Cloud, Adobe Advertising Cloud, and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Inc. in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.